

漂流・漂着物の影響



油にまみれたシロエリオオハム
(対馬野生生物保護センター提供)

平成18年2月から3月にかけて対馬で油汚染による海鳥114羽の被害が確認されました。

海中を浮遊する油分へ衝突したと考えられます。油はC重油と判明しましたが、発生源は特定されていません。

平成18年中に対馬市で回収された医療系廃棄物は600個以上、うち使用済注射器はおよそ200個に上りました。

海水浴場へ漂着したケースもありました。



上対馬町沖を漂流していた建設機械の一部と思われる物体。漁網、ロープが漁船のスクリューに絡まるケースは多発しています。